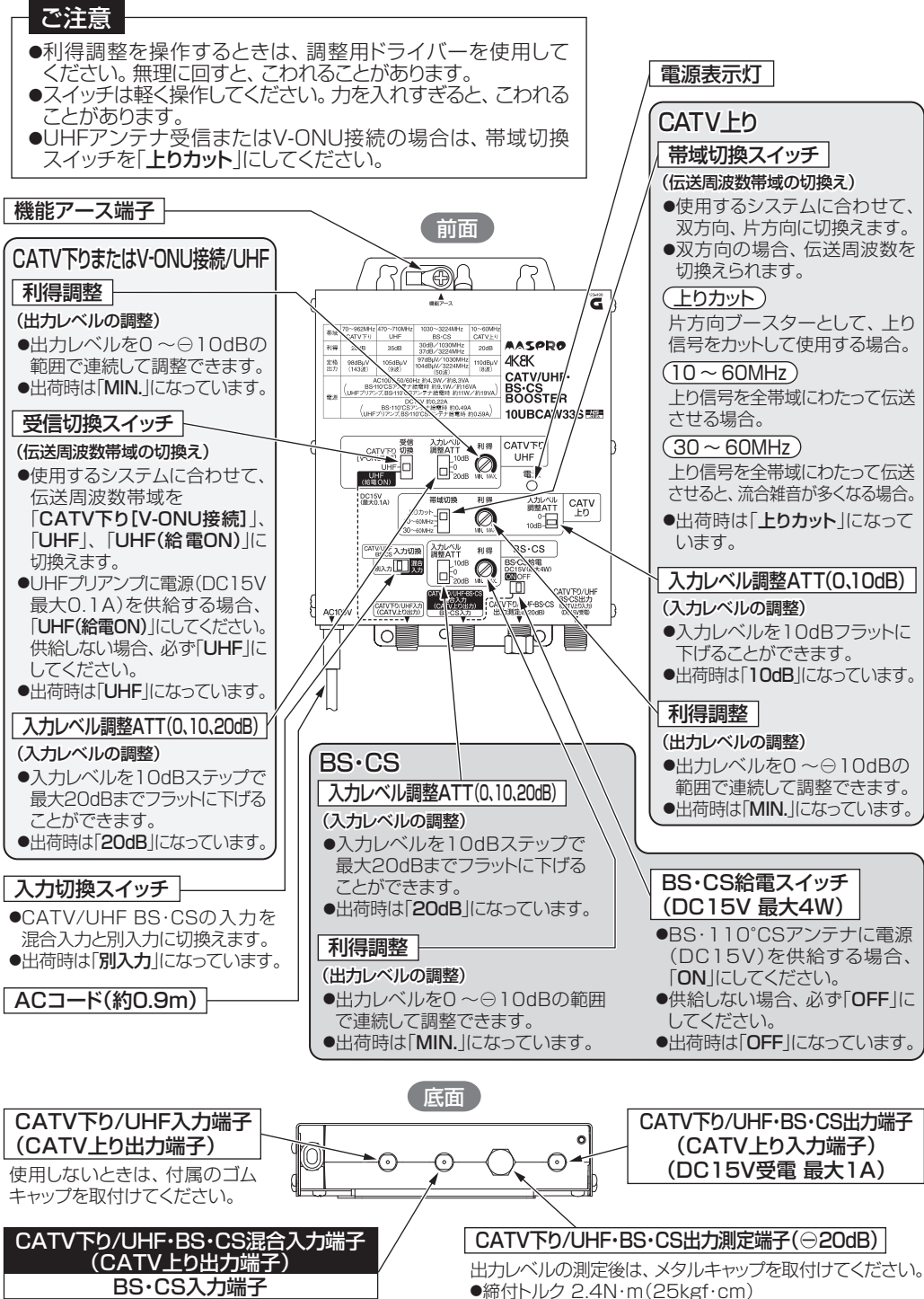
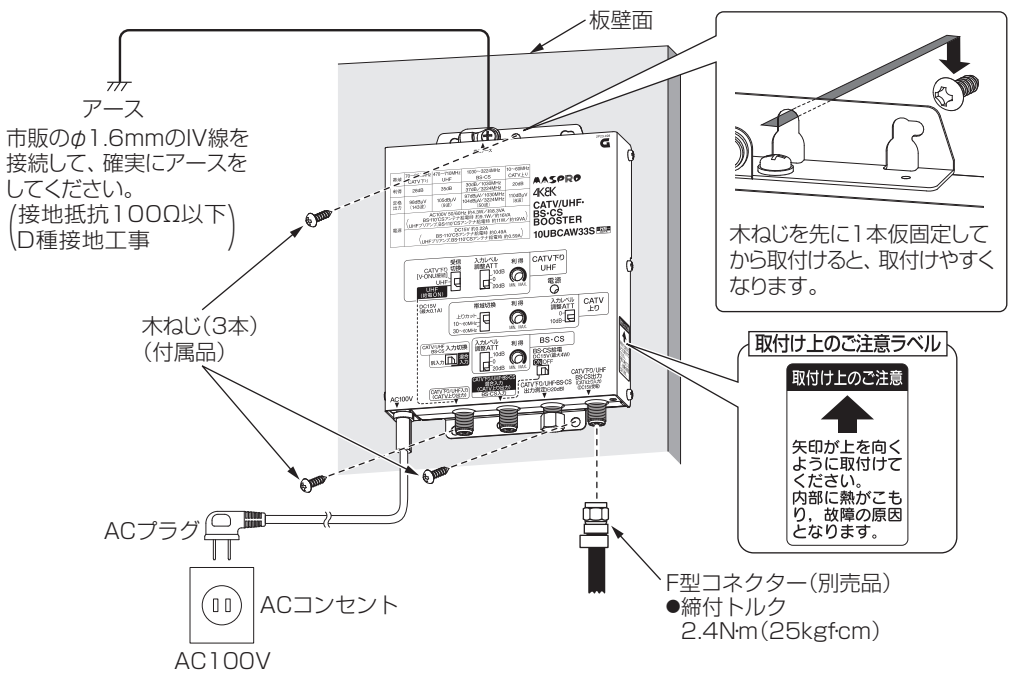


各部の名称と機能



取付方法

- 本器は屋内用です。雨水のかかる場所では、防水型の機器収容ボックスに設置してください。
- 75 Ω ケーブルはS5CFB相当以上のJISケーブル、F型コネクターはコンタクトピン付F型コネクターをお使いください。



- ご注意**
- 本器は、取付方法にしたがって正しく取付けてください。
(本器側面に貼付けられている、「取付け上のご注意ラベル」の矢印が上を向くように取付けてください)
 - 下記「3.信号の入力方法の選択とケーブルの接続」が終了するまで、本器に電源を供給しないでください。
 - 75 Ω ケーブルを接続する前に、必ずアースをしてください。
 - 本器は、内部に熱がこもらないように、グラスウールのような断熱材の上に置いたり、包んだりしないでください。
 - 腐食性ガス(塩素、硫化水素、亜硫酸ガス、窒素酸化物、塩基性ガスなど)が発生する環境で本器を使用しないでください。
 - 75 Ω ケーブルは電気配線と束ねて配線しないでください。また、強い電磁波を受ける場所を避けて設置してください。
 - 設置場所は、メンテナンスに容易な場所を選定してください。
 - ACコードを延長するために、途中で切断して別のコードをつなぐことは、電気設備技術基準で禁じられています。

- 機器収容ボックスに設置するときのご注意**
- 本器を機器収容ボックスに設置するときは、機器収容ボックス内が製品の使用温度を超えないように、下記の点に注意してください。機器収容ボックス内が高温になると、故障の原因となります。
 - ・機器収容ボックスは、内部の温度が50℃を超えるような場所に取付けないでください。
 - ・機器収容ボックスは、400(H)×500(W)×160(D)mm以上の大きさと、換気孔(開口部)のあるものを使用してください。[換気孔(開口部)をふさがないでください]
 - ・本器以外に発熱する機器を設置するときは、機器収容ボックスを大きなサイズにしてください。
 - ・本器は、高温にならないように、できるだけ機器収容ボックス内の低い位置に取付けてください。
 - ビニルテープなどの腐食性ガスを発生するものを機器収容ボックス内で使用しないでください。
 - 機器収容ボックスは、あらかじめアースをしてください。

調整方法

- ご注意**
- 実用入力レベルを超えた状態で作動させておく故故障の原因となります。実用入力レベルの範囲内になるように調整してから、本器に電源を供給してください。

1.入力レベルの確認・調整

CATVライン、V-ONUまたはアンテナからのケーブルを、レベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーに接続して、入力レベルが下記の実用入力レベルの範囲内になっているか確認します。

実用入力レベル (最小入力レベル～最大入力レベル)		
CATV下りまたはV-ONU接続	UHF	BS・CS
70(90)dB μ V※1	45～70(90)dB μ V	47～67(87)dB μ V

- ※1 最大入力レベル(最小入力レベルは、放送事業者へ確認してください)。デジタル信号は $\ominus$ 10dB運用
- 本器を1台だけ使用するときの値です。
 - ()内は入力レベル調整ATTを「20dB」にしたときの最大の実用入力レベルです。

CATV上り帯域の調整について

- CATV上り帯域の調整については、必ずケーブルテレビ局に確認してください。
- 調整にはテスト信号発生器が必要で、テスト信号のレベルは使用するシステムにより異なります。

入力レベルが最小入力レベルより低い場合

入力レベル調整ATTを「0dB」にしてください。

入力レベルが最大入力レベルより高い場合

- 入力レベル調整ATTを「10dB」(または「20dB」)にしてください。
- それでも最大入力レベルを超えている場合、入力端子側に別売のアッテネーターを接続して、最大入力レベル以下になるようにしてください。

2.受信切換スイッチ・帯域切換スイッチの設定

使用するシステムに合わせて、受信切換スイッチ、帯域切換スイッチを切換えます。

CATV下りまたはV-ONU接続、UHF

受信方法	UHFアンテナ受信		CATV下りまたはV-ONU接続
UHFプリアンプ	接続しない	接続する(電源を供給する)	—
受信切換スイッチ (出荷時の設定:「UHF」)	「UHF」に切換える CATV下り[V-ONU接続] UHF UHF(給電ON)	「UHF(給電ON)」に切換える CATV下り[V-ONU接続] UHF UHF(給電ON)	「CATV下り[V-ONU接続]」に切換える CATV下り[V-ONU接続] UHF UHF(給電ON)

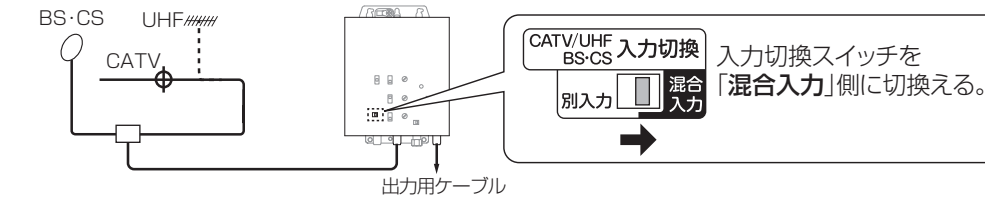
CATV上り

CATV上り信号	伝送する		カットする
流合雑音	少ない	多い	—
帯域切換スイッチ (出荷時の設定:「上りカット」)	「10～60MHz」に切換える 上りカット 10～60MHz 30～60MHz	「30～60MHz」に切換える 上りカット 10～60MHz 30～60MHz	「上りカット」に切換える 上りカット 10～60MHz 30～60MHz

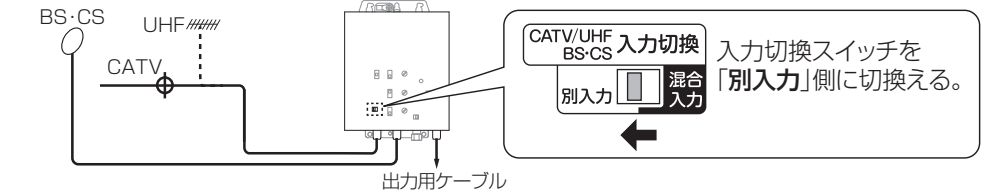
3.信号の入力方法の選択とケーブルの接続

- ①入力切換スイッチを使用環境によって切換えます。
(出荷時の設定:「別入力」)
- ②入力端子にアンテナ、CATVライン、V-ONUからのケーブルを接続します。
- ③CATV下り/UHF・BS・CS出力端子に出力用ケーブルを接続します。

CATVまたはUHFとBS・CSを混合して入力する場合



CATVまたはUHFとBS・CSを別々で入力する場合



4.出力レベルの調整

- ①CATV下り/UHF・BS・CS出力測定端子にレベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーを接続します。
- ②出力レベルを測定して、利得調整で調整します。(出荷時の設定:「MIN.」)
 - 測定値に20dBを加えた値が実際の出力レベルです。

CATV下りまたはV-ONU接続、UHFの調整

CATV下り/UHF・BS・CS出力測定端子のレベルが、CATV下りまたはV-ONU接続:78dB μ V※2以下、UHF:85dB μ V以下になるように、利得調整で調整します。

※2 デジタル信号は $\ominus$ 10dB運用

BS・CSの調整

CATV下り/UHF・BS・CS出力測定端子のレベルが、1030MHzで77dB μ V以下、3224MHzで84dB μ V以下になるように、利得調整で調整します。

